

市制5周年記念 「NHKのど自慢」

10月10日(日) 11:00～ (開場)

会場:文化体育館

NHK神戸放送局と南あわじ市では、市制5周年を記念し「NHKのど自慢」を開催します。自慢の「のど」を披露したい人、会場で応援したい人はふるってご応募ください。※入場無料

◆出場申込

出場申込は右のような**往復はがき**にて**1人(1組)1通に限り**応募できます。なお、応募多数の場合は、定員250組を選出します。

予選会について

応募多数の場合は、定員250組選出のうえ前日の予選会にご出場いただきます。

日時 10月9日(土) 11:45～(開場予定)

会場 文化体育館

応募資格 中学生を除く15歳以上で原則アマチュアの人

※予選会の模様も総合テレビで放送します

◆観覧申込(本選のみ)

予選会は申込不要で観覧自由です。本選を観覧希望の人は、右のような**往復はがき**で**1人1通に限り**お申し込みできます。応募多数の場合は、抽選のうえ、入場券(1枚で2人入場可)をお送りします。

※1歳以上のお子様から入場券が必要

※ご応募いただいた情報は抽選結果のご連絡のほか、受信料のお願いに使用させていただくことがあります

ふれあい市長室

将来を見据えたまちづくりへの挑戦に協力を！

合併して5年半、まちづくりの基本的な事業や地域格差の是正に取り組んでまいりました。保育料第2子以降無料化などの少子対策、小中学校耐震化100%、情報の受発信と地上デジタル化対策としてのケーブルテレビ整備、災害に備えた屋内外告知システムの整備や高齢化社会を迎えるためのコミュニティバスの拡充、三洋エナジー南淡(株)等の企業誘致による雇用機会の拡大、行財政改革の断行などに力を注いでまいりました。

今後は、各種事業の継続と併せて、才能豊かな市民の皆様への能力をより一層発揮していただくために活躍の機会を創出するとともに、全国に誇れる農漁業・瓦産業・観光、歴史・文化、自然景観などのすばらしい「ふるさと資源」をどう活かし、どう売り出し、所得や雇用の安定確保にどう繋げるかが課題です。

言い換えれば、新成長戦略や地域主権改革など、基礎自治体や地域自身の主体的な取

り組みが求められる中、市民・職員が連携し一丸となって「ふるさと」の将来を考え、全国をターゲットにした施策を展開する必要があります。また、生産基盤の整備を着実に進めながら、個々の仕事や役割を全うし、地域全体の活力を生み出さなければなりません。

そのためには、行政として丁寧な説明を行い、きめ細かな情報提供に心がけてまいります。

新庁舎建設の推進に代表されるように、国や社会情勢を考慮し長期的な視野に立った総合的判断を強いられまいります。将来、市民の皆様へ金銭的負担を増やさず、更にサービス維持をするための決断です。

私を先頭に、市役所職員も潜在的な個々の能力を最大限に発揮できるよう努力を重ね、ひたむきに着実に事務事業を進め、将来を見据えたまちづくりに挑戦してまいります。市民の皆様におかれましては、すばらしい「ふるさと」を次世代に引き継ぐため、ご尽力いただきますようお願いいたします。

新庁舎建設基本計画(案)に住民説明会の意見を反映

新庁舎建設の基本的な考え方

4月16日(金)～5月17日(月)にかけて、市内21地区で行いました説明会では、貴重なご意見をいただきありがとうございました。ご提案いただいた意見について検討を行い、このたび新庁舎建設基本計画(案)を加筆修正しました。今後はこれらの検討を踏まえ、より良き基本設計、実施設計へ繋げてまいります。

岡市長公室 ☎43-5002 / koushitsu@city.minamiawaji.hyogo.jp

意見① 伝統産業である淡路瓦を活用した新庁舎に

変更点

「新庁舎建設基本計画(案)概要版3頁」

2 新庁舎に求める将来像

Ⅰ 市民の生活や生命を守り、自然環境にやさしい庁舎について、次の考え方を追加

新庁舎は自然環境や景観に配慮しながら歴史を感じさせるようなデザイン

意見② 市民サービス向上のため新庁舎では年中無休で窓口業務をして欲しい

変更点

「新庁舎建設基本計画(案)概要版3頁」

2 新庁舎に求める将来像

Ⅱ 市民にとつてわかりやすく、開かれた庁舎について、次の考え方を追加

新庁舎への移転後は、年中無休での窓口業務を検討し、市民サービスの向上を目指します。

意見③ 障害者等の皆さまが運営に関われる売店や食堂の併設を

変更点

「新庁舎建設基本計画(案)概要版3頁」

2 新庁舎に求める将来像

Ⅱ 市民にとつてわかりやすく、開かれた庁舎について、次の考え方を追加

障害者等の皆さまが働く売店や食堂などの施設を設置し、市民の利便性の向上を図ります。

意見④ 新庁舎建設工事業及び設計業務に地元事業者の参加を

変更点

「新庁舎建設基本計画(案)概要版3頁」

4 新庁舎の概算事業費と財政状況

(1) 概算事業費

表へ別記として追加

意見⑤ 分庁舎跡地の有効活用において、地域の活性化に繋げるため地域との協議を

変更点

「新庁舎建設基本計画(案)概要版6頁」

4 新庁舎の概算事業費と財政状況

(4) 中央庁舎以外の分庁舎における跡地の有効利用及び資産運用の考え方に追加

新庁舎建設計画の推進と並行し、地域活性化に繋げるため、積極的に地域と協議しながら進めます。

意見⑥ 市民交流センターは、窓口サービスの低下にならないように利便性を高めて欲しい

変更点

「新庁舎建設基本計画(案)概要版10頁」

5 市民交流センターの概要

(3) 市民交流センターにおける窓口サービスに次の考え方を追加

各種証明書の交付は、本人等が窓口で申請し、翌日交付を受けることを原則としていますが、住民票の写し、印鑑登録証明書、各種納税証明書については、電話予約(本人申請、本人交付に限る)により交付可能となるよう早急に検討します。

市3役の給料額の改定を答申

南あわじ市特別職報酬等審議会(榎本悟朗会長)が7月22日、市長と副市長、教育長の給料の額を減額改定するよう中田市長へ答申書を手渡しました。

市では、これまで財政健全化計画を立て事務事業の見直しによる経費削減や行財政改革を進めており、合併時は市長96万円、副市長75万円、教育長68万円であった特別職の給料月額も平成18年から、自らの申し出により10%～8%減額していました。

しかし、今後も厳しい財政状況のなか尚一層の努力が求められることから、今年2月に市長から諮問を受けた同審議会が、公正・中立な立場から慎重審議を重ねて、左表の額のとおり「減額すべき」との結論を出し、答申しました。

答申書の給料の額

役職	給料月額
市長	850,000円
副市長	680,000円
教育長	600,000円